令和6年度　年間授業計画

教　科：国語　　科　目：古典基礎　　単位数：2

対象学年：第2学年

使用教材	教科書：	標準　古典探究（第一学習社）
	補助教材：	新明説総合古典文法（尚文出版）みるみる覚える古文単語３００（いいずな書店）

教科（　国語　）の目標

【知　識　及　び　技　能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目（　古典基礎　）の目標

【知　識　及　び　技　能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

令和6年度　年間授業計画　科目（　古典基礎　）

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元　説話一	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	2
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	古典を読むために必要な語句の意味や用法を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。	説話の読解				著名な和歌にまつわる話を読み、説話として語り伝えられた背景事情について理解を深めている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	著名な和歌にまつわる話を読み、説話として語り伝えられた背景事情を理解する。	古今著聞集				説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、展開や内容を的確に捉えている。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	積極的に説話を読み、和歌を含む説話の特徴について理解する。	小テスト、課題提出				積極的に説話を読み、和歌を含んだ説話の特質について理解を深めようとしている。				
	単元　随筆一	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	4
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	動詞・形容詞・形容動詞の活用表と活用する語を理解する。 随筆の特徴を理解する。	文法理解・随筆の読解				動詞・形容詞・形容動詞の活用を理解している。 随筆の特徴について理解を深めている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	基礎知識を生かして、活用の種類や活用形の問題が解けるようになる。 随筆の背景事情を理解する、	用言・助動詞・徒然草				用言の活用を踏まえて本文中の文法読解ができる。 随筆の表現を的確に捉えている。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	文法事項を理解して、それを随筆の読解につなげる。	小テスト、課題提出				用言の活用が分かることで内容の読解も深まることを理解し、用言に着目しながら積極的に随筆を読解をしようとしている。				
	定期考査（中間考査）/返却と解説						○	○	○	2
	単元　物語一	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	古典を読むために必要な文語のきまりについて理解する。	物語の読解				歌物語の特徴について理解を深めている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	物語の中で和歌が果たしている役割を押さえながら、場面と登場人物の心情とを読み味わうことができるようにする。	伊勢物語				物語の中で和歌が果たしている役割を押さえながら、場面と登場人物の心情とを読み味わっている。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	学習の見通しを持って歌物語を読み、文章の中で和歌が重要な役割を果たす歌物語の特徴について、積極的に理解を深める。	小テスト、課題提出				学習の見通しを持って歌物語を読み、文章の中で和歌が重要な役割を果たす歌物語の特徴について、理解を深めようとしている。				
	単元　日記	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	古典を読むために必要な語句の意味や用法を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。	日記の読解				古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりする。	蜻蛉日記				古典の作品や文章を読み、自分のものの見方や考え方を深めている。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	日記文学である『蜻蛉日記』を心情描写に注意しながら読み、積極的に自分の考えを広げたり深めたりする。	小テスト、課題提出				日記文学である『蜻蛉日記』を心情描写に注意しながら読み、積極的に自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。				
	定期考査（期末考査）/返却と解説						○	○	○	2

令和6年度　年間授業計画　科目（　古典基礎　）

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
			話・聞	書	読					
2学期	単元　物語二	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	8
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解する。	物語の読解				主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深めている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	歌物語と作り物語の二つの系譜を受け継ぐ長編物語を読んで、人物造形や心理描写の一端を知ることができるようにする。	源氏物語・桐壺・若紫				長編物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉えている。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明することができるようにする。	小テスト、課題提出				今までの学習を生かして長編物語をよみ、人物造形・心理描写・和歌の役割などに注意しながら、積極的に内容を捉えようとしている。				
	単元　物語三	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	8
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	古典の作品に表れている、言葉の響きやリズムなどの表現の特色について理解する。	物語の読解				古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	軍記物語を読んで、登場人物の行動と、それを支える思想や歴史的背景を理解し、考えを深める。	平家物語				軍記物語という文章の種類や和漢混交文という古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉えている。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	軍記物語を思想的背景・歴史的背景に注意しながら読み、和漢混淆文の特色について理解を深め、積極的に自分の考えを広げたり深めたりする。	小テスト、課題提出				軍記物語を思想的背景・歴史的背景に注意しながら読み、積極的に自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。				
	定期考査（中間考査）/返却と解説						○	○	○	2
	単元　日記二	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	7
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	古典を読むために必要な語句の意味や用法を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。	日記の読解				語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	晩年になってまとめられた自伝的日記を読み、少女時代の自分を客観的に見つめた作者像に触れる。	更級日記				日記文学という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉えている。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	晩年に書かれた自伝的日記であることに注意しながら、内容を的確に捉え、読解する。	小テスト、課題提出				学習の見通しをもって『更級日記』を読み、晩年に書かれた自伝的日記であることに注意しながら、構成や展開を捉えようとしている。				
	単元　漢文基礎知識	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	7
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	返り点や再読文字などの漢文の基本的な知識を理解する。	漢文の基礎知識理解				返り点や再読文字などを理解している。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	漢文の基礎知識を生かして、様々な漢文を読解する。	再読文字				漢文の基礎知識を生かして本文を正確に読解している。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	読解した漢文を自分なりに解釈する。	小テスト、課題提出				漢文を読解し、他の作品との関連も考えながら読み解こうとしている。				
	定期考査（期末考査）/返却と解説						○	○	○	2

令和6年度　年間授業計画　科目（　古典基礎　）

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
			話・聞	書	読					
3学期	単元　三国志の世界	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	『史記』の時代背景など基本的な知識を理解する。	漢文読解				史伝を読み、歴史的な背景を理解している。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	登場人物の関係をとらえ、当時の時代背景もおさえた上で文章を読解する。	史記				登場人物の描写を読み解くことを通して、戦乱の時代を生きた人々の人物像について考察を深めている。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	読み取った内容を他の作品につなげて、理解する。	小テスト、課題提出				各場面の展開を整理し、登場人物の言動から、それぞれの心情や性格を進んで捉えようとしている。				
	単元　漢詩	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	押韻や対句などの漢詩の基礎的な知識を理解する。	漢詩の読解				漢詩に表れる表現の特色について理解を深めている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	作者の生い立ちなどを踏まえながら、漢詩を読解する。	中国の詩				漢詩特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉えている。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	漢詩の内容を踏まえて、当時の時代背景などを想像する。	小テスト、課題提出				漢詩の表現や技法への理解を深めるとともに、作品にこめられた作者の思いを進んで読み取ろうとしている。				
	定期考査（期末考査）/返却と解説						○	○	○	2
										合計
										70